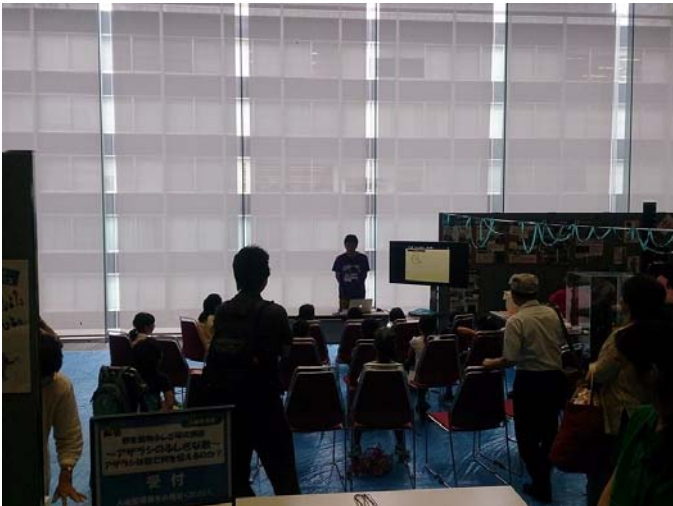


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書  
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 15 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・博士課程 2 年
氏 名	水口 大輔

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
日本・東京
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
丸の内キッズジャンボリーにおける研究講座での発表
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 26 年 8 月 13 日 (3 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
東京国際フォーラム
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くて結構です。
東京国際フォーラムにて開催された「丸の内キッズジャンボリー」において、小・中学生約 20 名を対象にアザランの発声行動に関わる調査風景や研究内容を紹介する講座を開いた。 アウトリーチ活動の一環として、自身の研究活動を平易な言葉によりわかりやすくかつ的確に伝えるための貴重な経験となった。
写真：報告者の発表風景

<b>6. その他</b> (特記事項など)